

News Release

2023年2月14日

2022年度 第3四半期業績のお知らせ

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上あいおい生命保険株式会社（社長：加治 資朗）の2022年度 第3四半期（2022年4月1日～2022年12月31日）の業績をお知らせいたします。

1. 契約高

新契約は、収入保障系商品の販売減少等により、1兆1,037億円（前年同期比84.7%）となりました。また、保有契約は23兆4,216億円（前年度末比98.2%）となりました。

2. 年換算保険料

新契約は、医療保険・収入保障保険の販売減少等により、201億円（前年同期比98.3%）となりました。また、保有契約は4,410億円（前年度末比99.4%）となり、うち、第三分野の保有契約は、1,561億円（前年度末比102.4%）となりました。

3. 損益の状況

新型コロナによる入院給付金が増加したことを主因に、基礎利益は165億円（前年同期差△89億円）、四半期純利益は103億円（前年同期差△66億円）といずれも減益となりました。

4. ソルベンシー・マージン比率

経営の健全性を示す指標であるソルベンシー・マージン比率は、821.6%となりましたが、引き続き高い水準を確保しております。

5. 当社の格付け（2023年2月14日現在）

AA

格付投資情報センター（R&I）

保険金支払能力格付け

【主要業績】

	2021年度 第3四半期 累計期間	2022年度 第3四半期 累計期間	前年同期比 (前年同期差)
新契約件数	176千件	153千件	87.1%
新契約高	1兆3,031億円	1兆1,037億円	84.7%
新契約年換算 保険料	204億円	201億円	98.3%
保険料等収入	3,708億円	3,611億円	97.4%
基礎利益	254億円	165億円	64.9% (△89億円)
四半期純利益	170億円	103億円	60.8% (△66億円)

	2021年度末	2022年度 第3四半期末	前年度末比 (前年度末差)
保有契約件数	4,018千件	4,030千件	100.3%
保有契約高	23兆8,477億円	23兆4,216億円	98.2%
保有契約年換算 保険料	4,438億円	4,410億円	99.4%
うち第三分野	1,524億円	1,561億円	102.4%
総資産	4兆8,837億円	4兆9,493億円	101.3%
ソルベンシー・マージン 比率	1,151.9%	821.6%	(△330.3 ポイント)

(注)

- ・新契約件数・新契約高・新契約年換算保険料・保有契約件数・保有契約高・保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計
- ・2022年度第1四半期累計期間から基礎利益の算出方法が新基準になったため、2021年度第3四半期累計期間も新基準に基づいて算出

<< 目次 >>

1. 主要業績	1 頁
2. 資産運用の実績(一般勘定)	2 頁
3. 四半期貸借対照表	4 頁
4. 四半期損益計算書	5 頁
5. 経常利益等の明細(基礎利益)	7 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	8 頁
7. 特別勘定の状況	9 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	9 頁

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2021年度末		2022年度第3 四半期会計期間末			
	件数	金額	件数	前年度末比	金額	前年度末比
① 個人保険	3,858	232,274	3,875	100.4	228,183	98.2
② 個人年金保険	159	6,203	155	96.9	6,033	97.3
③ 団体保険	—	96,180	—	—	99,101	103.0
④ 団体年金保険	—	2	—	—	2	93.9
個人合計(①+②)	4,018	238,477	4,030	100.3	234,216	98.2
個人合計+団体保険 (①+②+③)	—	334,658	—	—	333,318	99.6

(注) 1. 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

2. 団体年金保険については、責任準備金の金額です。

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2021年度第3 四半期累計期間				2022年度第3 四半期累計期間					
	件数	金額			件数	金額				
		新契約	転換による 純増加		前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
① 個人保険	176	13,000	13,000	—	153	87.1	11,015	84.7	11,015	—
② 個人年金保険	0	30	30	—	0	74.9	22	72.9	22	—
③ 団体保険	—	381	381	—	—	—	462	121.1	462	—
④ 団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
個人合計(①+②)	176	13,031	13,031	—	153	87.1	11,037	84.7	11,037	—

(注) 新契約の個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度末		2022年度第3 四半期会計期間末	
	金額	前年度末比	金額	前年度末比
個人保険	405,752	99.6	403,989	99.6
個人年金保険	38,105	97.3	37,062	97.3
合 計	443,858	99.4	441,052	99.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	152,421	102.4	156,154	102.4

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2021年度第3 四半期累計期間		2022年度第3 四半期累計期間	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
個人保険	20,358	98.4	20,042	98.4
個人年金保険	131	74.9	98	74.9
合 計	20,489	98.3	20,140	98.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	10,812	90.8	9,817	90.8

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、

1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

2. 「うち医療保障・生前給付保障等」欄には、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を記載しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円，％）

区 分	2021年度末		2022年度第3四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	107,417	2.2	230,561	4.7
買現先勘定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-
商品有価証券	-	-	-	-
金銭の信託	-	-	-	-
有価証券	4,613,652	94.5	4,528,106	91.5
公社債	4,225,892	86.5	4,153,898	83.9
株式	1,001	0.0	1,077	0.0
外国証券	315,227	6.5	310,434	6.3
公社債	273,906	5.6	272,118	5.5
株式等	41,320	0.8	38,316	0.8
その他の証券	71,531	1.5	62,696	1.3
貸付金	58,990	1.2	60,184	1.2
不動産	346	0.0	304	0.0
繰延税金資産	10,923	0.2	38,860	0.8
その他	92,501	1.9	91,448	1.8
貸倒引当金	△91	△0.0	△91	△0.0
合計	4,883,740	100.0	4,949,374	100.0
うち外貨建資産	318,451	6.5	316,884	6.4

（注）「不動産」については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を記載しています。

(2) 有価証券の時価情報(売買目的有価証券以外)

(単位:百万円)

区 分	2021年度末					2022年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差 損 益			帳簿価額	時価	差 損 益		
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の債券	1,335,161	1,468,087	132,925	149,941	17,016	1,337,051	1,352,090	15,039	80,788	65,749
責任準備金対応債券	1,914,224	1,794,138	△ 120,085	4,181	124,266	1,934,743	1,511,791	△ 422,951	-	422,951
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	1,319,070	1,360,274	41,203	74,606	33,402	1,310,107	1,251,535	△ 58,571	44,808	103,380
公 社 債	945,959	976,506	30,546	48,568	18,022	912,972	882,103	△ 30,868	29,069	59,938
株 式	243	352	108	108	-	243	428	184	184	-
外 国 証 券	305,313	315,222	9,909	20,689	10,780	334,335	310,429	△ 23,906	10,830	34,737
公 社 債	268,180	273,906	5,726	14,953	9,226	295,849	272,118	△ 23,730	8,118	31,849
株 式 等	37,132	41,315	4,182	5,736	1,553	38,486	38,310	△ 175	2,712	2,888
その他の証券	67,553	68,194	640	5,239	4,599	62,555	58,574	△ 3,980	4,723	8,704
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	4,568,456	4,622,500	54,044	228,729	174,684	4,581,901	4,115,417	△ 466,483	125,597	592,080
公 社 債	4,195,345	4,238,732	43,386	202,691	159,304	4,184,766	3,745,985	△ 438,780	109,858	548,639
株 式	243	352	108	108	-	243	428	184	184	-
外 国 証 券	305,313	315,222	9,909	20,689	10,780	334,335	310,429	△ 23,906	10,830	34,737
公 社 債	268,180	273,906	5,726	14,953	9,226	295,849	272,118	△ 23,730	8,118	31,849
株 式 等	37,132	41,315	4,182	5,736	1,553	38,486	38,310	△ 175	2,712	2,888
その他の証券	67,553	68,194	640	5,239	4,599	62,555	58,574	△ 3,980	4,723	8,704
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含むこととしています。
2. 市場価格のない株式等および組合等は本表から除いています。

・市場価格のない株式等および組合等の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	2021年度末	2022年度 第3四半期会計期間末
子会社・関連会社株式	-	-
その他有価証券	3,991	4,775
国内株式	649	649
外国株式	-	-
その他	3,342	4,126
合 計	3,991	4,775

(注) 市場価格のない株式等および組合等のうち、外貨建資産について為替を評価した差損益は次のとおりです。
(2021年度末:0百万円、2022年度第3四半期会計期間末:0百万円)

(3) 金銭の信託の時価情報

金銭の信託は保有していません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	2021年度末	2022年度
		要約貸借対照表 (2022年3月31日現在)	第3四半期会計期間末 (2022年12月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		107,417	230,561
有価証券		4,613,652	4,528,106
(うち国債)		(3,499,113)	(3,414,612)
(うち地方債)		(102,265)	(102,160)
(うち社債)		(624,513)	(637,125)
(うち株式)		(1,001)	(1,077)
(うち外国証券)		(315,227)	(310,434)
貸付金		58,990	60,184
保険約款		58,990	60,184
有形固定資産		6,855	7,213
無形固定資産		28,968	26,742
代り再そ線の貸付		1,379	1,375
その延倒引当金		1,274	175
その他資産		54,370	56,245
延倒引当金		10,923	38,860
貸付金		△ 91	△ 91
資産の部合計		4,883,740	4,949,374

科目	期別	2021年度末	2022年度
		要約貸借対照表 (2022年3月31日現在)	第3四半期会計期間末 (2022年12月31日現在)
		金額	金額
(負債の部)			
保険契約準備金		4,208,571	4,325,930
支払準備金		38,970	42,327
責任者配当準備金		4,158,746	4,272,731
代理店借入金		10,854	10,871
再保の他負債		2,949	2,770
その引当金		309	332
先勘定負債		480,344	500,407
売債借取受入担保金		227,342	226,894
未払法人税等		228,535	263,542
リース債務		632	-
資産除去債務		239	173
その他の負債		414	408
退職給付引当金		23,179	9,389
退職慰労引当金		4,647	4,943
株式給付引当金		5	4
特別法上の準備金		-	47
価格変動準備金		11,126	12,101
負債の部合計		11,126	12,101
負債の部合計		4,707,955	4,846,537
(純資産の部)			
資本剰余金		85,500	85,500
資本準備金		19,955	19,955
その他資本剰余金		14,746	14,746
利益剰余金		5,208	5,208
利益準備金		40,662	39,552
その他利益剰余金		3,630	5,924
特定事業出資積立金		37,032	33,628
繰越利益剰余金		49	49
株主資本合計		36,982	33,578
株主資本合計		146,117	145,008
その他有価証券評価差額金		29,667	△ 42,170
評価・換算差額等合計		29,667	△ 42,170
純資産の部合計		175,784	102,837
負債及び純資産の部合計		4,883,740	4,949,374

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	2021年度 第3四半期累計期間 〔2021年4月1日から 2021年12月31日まで〕	2022年度 第3四半期累計期間 〔2022年4月1日から 2022年12月31日まで〕
	金 額	金 額
経 常 収 益	413,800	412,532
保 険 料 等 収 入	370,851	361,188
（うち保 険 料）	（ 370,544 ）	（ 360,316 ）
資 産 運 用 収 益	41,157	48,693
（うち利息及び配当金等収入）	（ 37,774 ）	（ 40,895 ）
（うち有価証券売却益）	（ 3,379 ）	（ 7,747 ）
（うち金融派生商品収益）	（ - ）	（ 34 ）
そ の 他 経 常 収 益	1,791	2,650
経 常 費 用	386,407	394,097
保 険 金 等 支 払 金	170,088	200,946
（うち保 険 金）	（ 36,173 ）	（ 36,560 ）
（うち年 金）	（ 15,290 ）	（ 15,690 ）
（うち給 付 金）	（ 25,320 ）	（ 39,864 ）
（うち解 約 返 戻 金）	（ 89,128 ）	（ 104,857 ）
（うちそ の 他 返 戻 金）	（ 2,888 ）	（ 2,625 ）
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	145,643	117,341
支 払 備 金 繰 入 額	1,249	3,356
責 任 準 備 金 繰 入 額	144,393	113,984
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額	0	0
資 産 運 用 費 用	1,080	5,308
（うち有価証券売却損）	（ 637 ）	（ 3,928 ）
（うち金融派生商品費用）	（ 151 ）	（ - ）
事 業 費	55,063	55,062
そ の 他 経 常 費 用	14,532	15,438
経 常 利 益	27,392	18,434
特 別 利 益	0	1
固 定 資 産 等 処 分 益	0	1
特 別 損 失	939	1,015
固 定 資 産 等 処 分 損	21	41
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	918	974
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額	3,131	2,844
税 引 前 四 半 期 純 利 益	23,321	14,575
法 人 税 等	6,263	4,210
四 半 期 純 利 益	17,058	10,365

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2022 年度第3四半期会計期間末

1. 四半期特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、主として、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない差異の金額が重要な場合にはその金額を加減した上で法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は、298,012 百万円であります。

3. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ. 当期首現在高	10,854 百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	2,827 百万円
ハ. 利息による増加等	0 百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	2,844 百万円
ホ. 当第3四半期会計期間末現在高	10,871 百万円

4. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年5月19日 取締役会	普通株式	11,474	3,876円44銭	2022年3月31日	2022年5月25日

5. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2022 年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純利益は、3,501円72銭であります。算定上の基礎である四半期純利益及び普通株式に係る四半期純利益はともに10,365百万円、普通株式の期中平均株式数は2,960千株であります。

2. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細(基礎利益)

(単位:百万円)

	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	25,476	16,546
キャピタル収益	3,583	7,800
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	3,379	7,747
金融派生商品収益	-	34
為替差益	3	16
その他キャピタル収益	200	2
キャピタル費用	1,061	5,648
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	637	3,928
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	151	-
為替差損	-	-
その他キャピタル費用	271	1,719
キャピタル損益 B	2,522	2,152
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	27,999	18,698
臨時収益	-	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
個別貸倒引当金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	606	263
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	605	263
個別貸倒引当金繰入額	1	0
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△ 606	△ 263
経常利益 A+B+C	27,392	18,434

(注)

1. 基礎利益には、次の金額が含まれています。

	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	0	1
マーケット・ヴァリュエーション・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	△ 2	△ 2
為替に係るヘッジコストの影響額	△ 197	374
投資信託の解約損益の影響額	271	1,343

2. その他キャピタル収益には、次の金額が含まれています。

	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	-	-
マーケット・ヴァリュエーション・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	2	2
為替に係るヘッジコストの影響額	197	-
投資信託の解約損益の影響額	-	-

3. その他キャピタル費用には、次の金額が含まれています。

	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
外貨建保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	0	1
マーケット・ヴァリュエーション・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	-	-
為替に係るヘッジコストの影響額	-	374
投資信託の解約損益の影響額	271	1,343

4. 2022年度第1四半期累計期間より、基礎利益の算出方法を変更しています。この結果、変更前と比べて、当第3四半期累計期間の基礎利益が1,718百万円増加し、キャピタル損益が同額減少しております。また、前第3四半期累計期間についても、変更後の取扱いに基づき算出しており、変更前と比べて、前第3四半期累計期間の基礎利益が73百万円増加し、キャピタル損益が同額減少しております。

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項 目	2021年度末	2022年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	398,033	281,589
資本金等	134,643	141,125
価格変動準備金	11,126	12,101
危険準備金	40,305	40,569
一般貸倒引当金	4	4
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合は100%)	37,083	△58,570
土地の含み損益×85%(マイナスの場合は100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	165,324	162,824
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	△27,815
持込資本金等	-	-
控除項目	-	-
その他	9,545	11,351
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	69,105	68,543
保険リスク相当額 R_1	18,369	18,297
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	17,845	18,174
予定利率リスク相当額 R_2	3,263	3,275
最低保証リスク相当額 R_7	-	-
資産運用リスク相当額 R_3	53,400	52,566
経営管理リスク相当額 R_4	1,857	1,846
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,151.9%	821.6%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

<参考>実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	2021年度末	2022年度 第3四半期 会計期間末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	4,896,580	4,525,062
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	4,479,162	4,631,258
実質資産負債差額 A (1) - (2) = (3)	417,417	△106,196
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	12,840	△407,912
実質資産負債差額 B (3) - (4) = (5)	404,577	301,716

(注) 実質資産負債差額 A は、保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令第3条および平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づき算出しています。実質資産負債差額 B は、保険会社向けの総合的な監督指針Ⅱ-2-2-6に基づき算出しています。当社は、同監督指針Ⅱ-2-2-6の記載に基づく保険金等の支払に備えた流動性資産を確保しています。

7. 特別勘定の状況

該当する事項はありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当する事項はありません。

以 上